

## 構造改革評価報告書

### 企業・雇用への改革効果の検証と「次の一手」

企業・雇用における改革効果の検証を通じてわかったこと  
= 民間が改革に対して敏感に反応し、その能力を発揮



「次の一手」 = 一層の構造改革で徹底的に民の力を引き出す

企業・雇用面で改革効果が生じつつある。

- 企業再編関係の法制・税制の整備を外部有識者も高く評価。再編が活発化（M&A が 5 年間で約 2.5 倍に）。再編を行った企業は高い収益性。
- 規制緩和により民間職業紹介の紹介実績が増加。短い離職期間（民間 2.9 カ月、公共 4.1 カ月）等良好なパフォーマンス。等

ただし依然課題も残されている。

- 日本企業の収益率は海外の競争相手と比べると依然低い。
- 新卒の就職率低下・無業者比率上昇などの若年雇用問題。等

評価・検証を踏まえ、「次の一手」を提示。

- グローバルな視点で改革（農業再生と F T A の推進等）。
- 生活密着の身近な開業（特に女性による起業）を支援。
- 失業者にもならない若年無業者の増加に焦点。等